



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,416	1.3	169	1.0	155	1.1	63	20.9
30年3月期第2四半期	8,524	1.3	167	20.4	157	25.2	80	33.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 61百万円 (25.1%) 30年3月期第2四半期 81百万円 (44.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	29.75	
30年3月期第2四半期	37.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	15,025	6,309	42.0
30年3月期	15,467	6,248	40.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,309百万円 30年3月期 6,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,730	1.3	220	36.8	200	37.5	50	66.4	23.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	2,139,434 株	30年3月期	2,150,434 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	985 株	30年3月期	11,985 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	2,138,449 株	30年3月期2Q	2,138,619 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成30年11月16日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移したものの、記録的な猛暑・豪雨・台風等の異常気象の影響や原油価格の上昇等により個人消費は力強さを欠くものとなりました。また、海外においては、米中貿易摩擦に見られる保護主義の台頭や地政学リスクが懸念され、先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、牛肉・米等の原材料価格の高騰、また働き方改革、継続的な人手不足やアルバイト・パート時給の上昇等もあり、人件費を中心に販管費が上昇しております。また、消費者の生活防衛意識が一層高まる等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高84億16百万円（対前年同期比1.3%減）、営業利益1億69百万円（対前年同期比1.0%増）、経常利益1億55百万円（対前年同期比1.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益63百万円（対前年同期比20.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は187店舗であります。内訳は直営142店舗、暖簾13店舗、F C 32店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「映画『焼肉ドラゴン』コラボフェア」、「とろ〜りチーズと韓国グルメフェア」、「学割キャンペーン」、「旬野菜、夏焼肉フェア」、「夏真っ盛り！ウキウキ宝くじ」、「ハッピーアワークーポン」、「お盆スペシャルクーポン」、「肉の日1.5倍増量キャンペーン」、映画『パパはわるものチャンピオン』とのコラボ「俺が焼肉チャンピオンフェア」、「シルバーウィーククーポン」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアやキャンペーンを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は70億5百万円（対前年同期比0.9%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3億73百万円（対前年同期比1.4%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は28店舗であります。内訳は直営24店舗、暖簾2店舗、F C 2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、毎月恒例の「七輪房の日」、「肉の日クーポン」等、メルマガやLINEによるクーポン配信を行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は12億4百万円（対前年同期比3.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は79百万円（対前年同期比18.1%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、F C 5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「ロンチャン（中華）」、「AGRICOCO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億6百万円（対前年同期比30.5%減）となり、セグメント損失（営業損失）は3百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ4億42百万円減少し、150億25百万円となりました。これは、借入金の返済による現金及び預金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ5億3百万円減少し、87億15百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、63億9百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、4億78百万円減少し、23億87百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上1億47百万円、減価償却費の計上2億86百万円等により1億17百万円の収入となりました。前年同期と比べ3億86百万円(対前年同期比76.8%)の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1億83百万円等により1億78百万円の支出となりました。前年同期と比べ3億82百万円(対前年同期比68.2%)の支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1億50百万円、長期借入金の返済による支出4億58百万円等により4億18百万円の支出となりました。前年同期は74百万円の収入でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳しくは、平成30年11月9日に公表いたしました「業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,865,547	2,388,307
受取手形及び売掛金	415,774	364,197
商品及び製品	133,869	150,206
仕掛品	854	1,340
原材料及び貯蔵品	475,929	664,473
前払費用	202,916	214,598
その他	96,727	91,803
貸倒引当金	△226	△220
流動資産合計	4,191,392	3,874,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,880,068	2,854,908
機械装置及び運搬具(純額)	100,151	91,552
工具、器具及び備品(純額)	355,084	331,766
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産(純額)	54,545	35,246
建設仮勘定	2,255	2,855
有形固定資産合計	8,396,029	8,320,252
無形固定資産		
のれん	54,460	47,652
その他	131,862	131,438
無形固定資産合計	186,322	179,091
投資その他の資産		
投資有価証券	94,931	90,079
長期貸付金	6,377	6,173
長期前払費用	21,149	20,544
繰延税金資産	142,875	134,561
敷金及び保証金	2,416,304	2,388,853
その他	38,333	37,083
貸倒引当金	△26,289	△26,186
投資その他の資産合計	2,693,682	2,651,108
固定資産合計	11,276,033	11,150,452
資産合計	15,467,426	15,025,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,620	673,636
短期借入金	901,818	3,379,681
リース債務	40,802	31,711
割賦未払金	188,346	196,772
未払金	169,967	209,606
設備関係未払金	75,226	19,166
未払費用	506,328	459,997
未払法人税等	149,631	131,493
未払消費税等	126,076	90,121
賞与引当金	72,800	70,500
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	569,890	483,822
流動負債合計	3,438,806	5,759,804
固定負債		
長期借入金	4,367,797	1,581,884
リース債務	16,786	5,259
長期割賦未払金	577,561	544,755
繰延税金負債	105,383	105,878
役員退職慰労引当金	351,481	360,537
転貸損失引当金	49,430	42,782
退職給付に係る負債	213,628	217,425
その他	98,534	97,534
固定負債合計	5,780,602	2,956,056
負債合計	9,219,409	8,715,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,472,098
利益剰余金	599,159	662,785
自己株式	△70,998	△5,835
株主資本合計	6,247,807	6,311,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	△3,387
為替換算調整勘定	—	1,251
その他の包括利益累計額合計	209	△2,135
純資産合計	6,248,017	6,309,298
負債純資産合計	15,467,426	15,025,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,524,802	8,416,601
売上原価	3,059,038	3,059,835
売上総利益	5,465,763	5,356,765
販売費及び一般管理費	5,298,329	5,187,701
営業利益	167,433	169,064
営業外収益		
受取利息	1,019	907
受取配当金	1,165	1,157
受取地代家賃	3,548	3,669
貸倒引当金戻入額	390	108
その他	28,124	20,334
営業外収益合計	34,247	26,177
営業外費用		
支払利息	38,531	34,670
その他	5,657	4,831
営業外費用合計	44,189	39,502
経常利益	157,492	155,740
特別損失		
固定資産除却損	783	3,794
減損損失	6,301	—
賃貸借契約解約損	10,369	1,556
訴訟和解金	9,000	3,250
特別損失合計	26,455	8,600
税金等調整前四半期純利益	131,036	147,139
法人税、住民税及び事業税	49,003	75,199
法人税等調整額	1,558	8,313
法人税等合計	50,562	83,512
四半期純利益	80,474	63,626
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,474	63,626

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	80,474	63,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,517	△3,596
為替換算調整勘定	—	1,393
その他の包括利益合計	1,517	△2,202
四半期包括利益	81,991	61,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,991	61,424

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	131,036	147,139
減価償却費	301,492	286,802
減損損失	6,301	—
のれん償却額	6,807	6,807
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△390	△108
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,100	△2,300
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,995	9,055
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△6,648	△6,648
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,890	3,777
受取利息及び受取配当金	△2,184	△2,065
支払利息	38,531	34,670
為替差損益(△は益)	—	16
固定資産除却損	783	3,794
賃貸借契約解約損	10,369	1,556
訴訟和解金	9,000	3,250
売上債権の増減額(△は増加)	54,093	51,576
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,879	△204,927
前渡金の増減額(△は増加)	718	△2,788
仕入債務の増減額(△は減少)	△85,189	48,144
未払金の増減額(△は減少)	△5,569	38,737
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,807	△41,399
未払費用の増減額(△は減少)	△21,071	△42,595
預り金の増減額(△は減少)	△58,621	△48,634
前受収益の増減額(△は減少)	205,048	△25,650
その他	△40,972	△9,722
小計	617,010	248,489
利息及び配当金の受取額	1,280	1,278
利息の支払額	△38,071	△34,634
店舗閉鎖に伴う支払額	△8,270	△4,478
訴訟和解金の支払額	△9,000	△3,250
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△59,049	△90,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	503,898	117,153

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△263,821	△183,509
無形固定資産の取得による支出	△22,125	△17,645
事業譲受による支出	△90,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△203,827	—
敷金及び保証金の回収による収入	49,977	25,935
預り保証金の返還による支出	△3,500	△3,500
預り保証金の受入による収入	5,000	2,500
関係会社貸付けによる支出	△22,986	—
貸付金の回収による収入	780	216
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△10,068	△2,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△560,570	△178,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	565,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△396,138	△458,050
割賦債務の返済による支出	△73,258	△91,678
リース債務の返済による支出	△21,214	△18,824
自己株式の取得による支出	△233	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	74,155	△418,552
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1,377
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,483	△478,497
現金及び現金同等物の期首残高	2,435,813	2,864,532
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	1,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,453,297	2,387,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,066,672	1,160,935	297,194	8,524,802	8,524,802	—	8,524,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,066,672	1,160,935	297,194	8,524,802	8,524,802	—	8,524,802
セグメント利益又は 損失(△)	378,496	96,530	△13,974	461,052	461,052	△293,618	167,433

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては6,301千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から1店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては37,666千円であります。

「その他業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては30,408千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,005,569	1,204,408	206,624	8,416,601	8,416,601	—	8,416,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,005,569	1,204,408	206,624	8,416,601	8,416,601	—	8,416,601
セグメント利益又は 損失(△)	373,262	79,013	△3,937	448,338	448,338	△279,273	169,064

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。